

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成29年12月25日 午前 9時29分
- 2 閉 会 平成29年12月25日 午前10時27分
- 3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員

出席委員

教育長	山 中 榮 輔
委員長職務代理者	米 谷 正 造
委 員	林 直 人
委 員	小鍛治 一 圭
委 員	三 宅 眞砂子
委 員	上 岡 仁

- 5 会議に出席した者

教育部長	服 部 浩 二
参事兼庶務課長	弓 取 克 哉
学校教育課長	北 川 和 美
こども夢づくり課長	西 村 佳 子
生涯学習課長	横 田 優 子
文化課主幹	平 田 壮太郎
庶務課課長補佐	岩 佐 知 美

- 6 会議録署名委員

山 中 榮 輔	三 宅 眞砂子
---------	---------

- 7 付議事件

議案第25号 総社市立学校教職員の表彰及び褒章について

原案可決

- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午前9時29分

山中教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。この教育委員会には、議案1件が付議されております。では、まず、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私の他に出席委員中、三宅委員にお願いします。

山中教育長 では、議案第25号「総社市立学校教職員の表彰及び褒章について」事務局から説明願います。

弓取庶務課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第25号について質問はありませんか。

【質疑なし】

山中教育長 お諮りいたします。議案第25号について可決してよろしいか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので、議案第25号については原案どおり可決しました。

山中教育長 では、教育長報告をいたします。11月末から議会が始まりまして21日に終了いたしました。詳細については部長の方から後ほどご説明いたします。

それから建設案件3件ですが、ビッグスリーと言いますけれども、総社小学校の建替えについては、30億円を超えて32～33億円になるのではないかと予想しております。それから新設給食調理場は20億を少し超えそうで、22～23億円になるのではないかと思います。3件目は、総社保育所と井尻野幼稚園を併せた新認定こども園。園の名前はまだ決まっておりません。この建替えについては大体8億ちょっとかかるのではないかと思います。地域の議員さんとかから、中央小学校前の道路が狭いのでなんとか解消できないかという提案がありまして、校門前から西側へ向かって約15mの区間を1.5m程引いて、拡幅しようというものです。近くにある木も伐採して見通しを良くして、それを第1ステップとし、後は全体感をどうするかは、これから議論していくということが必要かと思っております。

それから特別支援の子どもが随分増えておりまして、後ほど北川課長から報告があると思いま

すが、国、県と比較すると、小学校の場合、国平均の約5倍、県平均の1.7倍多くなっており、ちょっと異常な状態になっています。これをどうクリアしていくか、国や県の方針はインクルードするという事なので、それと逆行している形になっていますから、このあたりについて、我々が教員の研修といいますか、インクルードするためのスキルを高めていくことと併せてやらないと、支援補助員を増やして対応していますが、補助員の教育もほとんど出来ていないような状態です。そういうところを全体通してどうするか、県と相談しながら進めていかないと早晩パンクしてしまいます。一つのキーワードは「きらり」だと思いますが、「きらり」をどのような形で全体を

統括していくかという話もあると思います。後ほど北川課長がご説明いたします。以上です。

山中教育長 次に報告事項等に移りますが、まず「11月定例市議会の報告について」事務局

から説明願います。

服部教育部長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

【質疑・答弁】

三宅委員 保育所の出席停止ということですけど、出席停止は10日から2週間というのはほとんど無いと思います。インフルエンザで5日から1週間ぐらいなので、今の時期すごく流行っていますので本当に事務的に煩雑になりますし、10日から2週間というのがいいのかなど。これはほとんど対象疾患は無いです。

服部教育部長 実は真っ先にインフルエンザのことが話題になりまして、月によって半分以上がかかってきて、今委員がおっしゃったように5日から1週間ぐらいの期間ほぼ出席停止を

かけると。それを全部保育料をいただかない調整をかけようと思うとちょっと現場が回らないとい

う問題もありまして、これはかなりレアなケースになりますけれども、もう少し長い期間のものについてはあまりにもちょっと申し訳ないということもあって、保育料を考えようというところに

落ち着いた次第でございます。

三宅委員 実質、なしですね。

服部教育部長 いろんな感染症でなかなかその体調が戻らないとか、そう言った場合はこれに該当するものとみようということでもありますので、実際どれくらい出るかはやってみないと分

らない状況です。

三宅委員 それが要因になるといったら川崎病。あれは感染症ではないのですが、そんな場合は対象にしてあげたらいいのかなどは思います。

服部教育部長 今まで全く減免規定が無かったので、少し柔軟に取り組むよう、今回のご質問で考えてみました。

山中教育長 他にございませんか。よろしいでしょうか。

次に「生涯学習課行事について」事務局から説明願います。

横田生涯学習課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

【質疑なし】

山中教育長 次に「赤米の日本遺産登録申請について」事務局から説明願います。

平田文化課主幹 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

【質疑・答弁】

林委員 去年これを申請してですね、残念ながらという話になったと思うのですが、どうして駄目だったのかという理由は何だったんですかね。

平田文化課主幹 お米というのは非常に目に見えないものでして、伝わるというところが無形文化財で、対島、南種子、総社市というのは無形文化財と一緒に米が残っているということですので、要は365日見えるものが表現できていない、というのが一番です。日本遺産の趣旨が、観光面が非常に強いもので、「行って」「見る」ことができるというのが一番重要なところですので、お米の場合は365日は見えないものですので、非常にそこが難しく、今回は稲作ルートプラスそこに残っている有形の文化財を組み合わせるストーリー構成を考えております。正直申しまして、赤米だけでは日本遺産には難しいとは思いますが。

山中教育長 よろしいでしょうか。他にありませんか。

【質疑、報告事項なし】

山中教育長 他に報告事項等なければ、先ほどの特別支援の件を北川課長、説明してください。

北川学校教育課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

【質疑・答弁】

三宅委員 支援の必要な子達を実際1人1人見ていると、やっぱり家族の問題とか貧困の問題とかということで、教育だけではちょっと抱えきれない問題があるので、そのところをやっていこうという感じでできていると思うのですが、連携をとるのに個人情報保護とかで非常に難しいみたいですね。だからせつかくワンフロア化で子ども課と一緒にいるので、お母さんがずっと出て働かないとやっていけない、2つの仕事を持ってやっているという感じの子達もいるので、そのところも含めてちょっと支援を考えていかないと駄目だろうと思います。

山中教育長 おっしゃる通りだと思います。いまは放課後児童クラブがあるんですけども、そこだけではきめ細かい対応はできない。おっしゃるように母子の関係がうまくいかない。中学校に入って、うまくいかなくなっていくと、その子達をどうフォローするかというのは学校だけでは無理だと思います。そのために福祉と連携を始めたんですけども。

それともう一つは、義務教育の間はフォローできますけれども、高校に行くと切れてしまう訳です。だから、ここまでに何とか自立するような形で仕掛けを考えるということと、繋ぎをどうするかですね。それを福祉部局と一緒に話をしているんですが、ただ高等学校の理解がなかなかうまくいかない。そこが一つネックではあります。ただこの分けていくということが本当にいいのかどうか。放っておくと多分中学校以降で引きこもりになってしまいます。あまり正確な数字はありませんが、総社市は引きこもり比率が岡山県で高いといわれています。こういうことをやっていると益々引きこもりが増えていく。それを解決するのは教育委員会だけではなかなか難しいので、市民も巻き込んで、どういう仕組みを作るかというのが非常に大事だと思います。

三宅委員 皆さん思いは一緒なんですけどね、どういうきっかけや仕組みでやっていけばいいのか手探りの状況かなと思います。高校の方も困っているんですよ。連携をとりたいという気持ち

ちはあるみたいなので、中学校区なんかで、きらめき交付金の中で高校とも連携をとるような方向で。今もしておられると思うんですけども、もう少ししていったらいいのかなというふうに思いました。

山中教育長 校長会をやっているんですけども、僕らが校長先生にそういったフォローをきちっと言っていないと、高等学校の校長先生の中のウエイトが高いのは進学率なので、少数のところをどうやっていくかというのはこれから我々がいろいろ考えていかないといけない。よくコミュニケーションを図りながらやらないといけないことだと思います。進学した時に、支援が必要な子の個人情報も伝えていますが、その後どうしているかというフォローはなかなか難しい。そういう状況です。大きな課題です。

上岡委員 十年ほど前になりますけど、フィンランドに見に行ったんですね。完璧に壁はないんです。教室があってその入口の前で、特別支援学級の取り出し授業をしているんですね。困ったらそこで、だからいつでも行き来できる訳ですね。おそらくそういうことをインクルーシブは考えているのかなと思うんですけど。本当はそういう状態が自立社会参加に向かうような教育だったのに、早くその障がいを見つけて手立てをすればというところがかえって逆効果だったというのが現状だと思うんです。市教委の意識改革も必要でしょうし、保護者への教育のあり方についてやっぱり何かコンセプトを出さないといけないんじゃないかな。だから例えば総社小学校かどこか指定をして、そういうふうなあるべきインクルーシブ教育の姿を見せる必要がやっぱりあるかなと。早いうちにですね。こうなったらやっぱり今までの蓄積がありますし、だんだん後ろに行って「特別支援学級へ行ったら丁寧にしてくれるんじゃ」「国語と算数だけしてくれるんじゃ」。それじゃいけないので、その意識を変えないかぎりちょっと難しいかなと思います。だから早めに、繰り返しになりますけれども、理想の特別教育、インクルーシブ教育のあり方をどこかでまずやって、それを見ていただくことが必要かなと思います。

林委員 私が教育委員会にいた頃、結局何を目指していったのかということ、特別支援学級とかへの偏見とかを無くして行こうと。そういう意味において、もしそういう気になる子どもがいたらどうぞ、という感じで、それが当たり前の教育ですよ、そこへ在籍していることが決して特別じゃないんですよというところを目指していった結果、結局増えていったというふうなことを思っている訳です。現にその効果はあったかなということですね。本当に抵抗なく、自分の子どもに特別支援教育を受けさせてやりたいと、じゃあ審査をして、やりましょうという形になりました。しかしながら、そうすると自分の子どもに合った教育が受けられるということは非常に保護者にとってはメリットなので、どんどん増えていったと。いい教育、自分の子どもに合った教育をしてくれるんならそれは、という話です。じゃあそれを、増えたので元に戻すといった時にですね、どういう効果があるのかとかいうか、どういうふうなところを目指して今度はやっていくのかというところをしっかりとビジョンを示していかないといけないんじゃないかなということ、この数字を見て思いました。ですから例えばさっき言われたように、視察で行った時に退避場所とか、それこそ何かあった時とかのために校舎構造していたところがあったと思うんです

が、そういったところとか、または先生方の負担というか、インクルーシブでいくのであれば学級のサイズを少し考えていくとかそういう手立て、またそういった教育とはいったいどういうふうな教育なのか、というところをもう少し啓発するような研修を持つとか、そういうふうな次のステージに行くためにはそういった手立てを何か色々と考えていかないといけないんじゃないかなという感じがしています。ですから今まで総社市が取り組んできたものをさらにそれを進めるためにはどういうふうなものを次に考えないといけないかという時に、単なる在籍率が高いからという理由ではなくて、別の教育の本質にかかわるような形でやっていかないといけないのではないかなということを思います。ですから先ほど教育長が言われたように、引きこもりとかの率が高くなるとか、またなかなか就労といったところまでうまくいかないとか、高校と中学校の連携であるとか、そういったところを一つずつ何か色々な手立てを考えていって、その中で総社が進むべき道を今後考えていくという事をやっていかなくちやいけないんじゃないかなということを、感想みたいになりますけど、思った次第です。

米谷委員 私はちょっと全然違うのですが、今スポーツのほうでも障がいを持った子ども達をどう受け入れていくかという部分がありまして、やっぱり学校で出来ることと家庭で出来ることと、地域で出来ることといろいろあると思うので、その中で林先生が言われたように今総社で地域力を醸成していくというふうなところにも目を向けながら、学校を中心にインクルーシブ教育を進めていくっていうやり方も大事なのかなと思います。

山中教育長 ありがとうございます。他にご意見等はありませんか。

では次に、交通事故について事務局から説明願います。

北川学校教育課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか

【質疑・答弁】

三宅委員 他人事ではないんですが、年をとって目も見えなくなるし判断力も落ちてくるしで、あんまり夜暗いところとか遠出をしないようにと自戒しております。

上岡委員 加害が多い。分析というか、何かその聞き取りから思われることはありますか。仕事の関係とかいろいろあると思うんですが、加害がちょっと。被害、加害。同じなんでしょうか。

北川学校教育課長 加害の多さにつきましては、特に昨今、とにかく小さな事故でも報告を上げていただくようになっていることがあろうかと思います。たとえばカーブを曲がっている時によそ様の塀をこすったというようななどんなに小さな事故であっても、それは当て逃げの事故に繋がっていくということで厳しく指導をしている結果の部分もあるかとも思います。それから働き方改革等で早目に帰っていただくようには呼びかけているところなんですけれども、そうした心身共に疲れがたまってきているというのものもあるのかもしれない。それから中には、同じ方で繰り返し事故を起こしてしまうという方もいて、自己理解をきちっと把握して自分の運転の傾向はこういうことだということを知ることでも事故を防止するのに大きく役立つんだという話を聞きましたので、重大な事故、あるいは複数回起こしているような方につきましては、教習

所や警察署で自分の運転の有り方を見つめ直していただくというような機会を是非提供しなければいけないなと思っております。

山中教育長 追加で、17件中、勤務時間内が3件で、あとはほとんど休日なんです。だから緊張感が足りない時に起こっているということではないかと推察はしております。追突がかなり減って、狭い道路から出て行く時とか周りを見ずにぱっと出て行くというケース。それで自転車事故が多いです。今までは女性が多かったのですが、女性の先生方の中には、事故を起こしたら教育長のところに行かないといけないという話が回っていたと思いますが、男性が増えているということは、新しい先生方が多い。それと50代も非常勤で採用した方が多いので、復活しようと思っています。北川課長が言いましたけれども、余程ひどい人は教習所に行けば自分の運転がどういう傾向か分かりますから。警察に行ってもほしい傾向が分かるんですが、教習所に行ったほうが良く分かりますので、そういうことをこれから進めようと思っています。いずれにしても一般の人の7倍から10倍ですから、7パーセントは異常です。そんな状態なので、警察に来ていただいて話をしたということです。

山中教育長 よろしいでしょうか。

それでは三宅委員からインフルエンザの状況について、お願いいたします。

三宅委員 【インフルエンザの感染状況を報告した。】

山中教育長 では、次回の教育委員会の日程であります。既にご承知のとおり、1月17日(水)午前9時30分から開催いたしますので、ご参集願います。

この際、2月の教育委員会の日程を調整したいと思います。事務局から提案願います。

(2月の教育委員会について日程調整)

山中教育長 では、2月の教育委員会は、2月16日(金)午後1時30分から開催いたします。

では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉 会】

閉会 午前10時27分

上記記録している内容は、正確であるので署名する。

平成 年 月 日

教育長

委 員

職 員